# ほけんだより《夏号》

今年も心身共に堪える厳しい暑さが続いております。
９月に入ってもまだまだ暑い日が続くことが予想されますが、初夏から流行している手足口病やヘルパンギーナ・プール熱等に加え、秋に向けてノロウィルスやＲＳウィルスの流行も始まります。それぞれの症状・ケアの仕方を事前に把握し、適切に回復に導けるよう知識を身に付けましょう。

## ノロウィルス

【症状】　吐き気 / 嘔吐 / 下痢 / 発熱(軽度)
↳通常はこのような症状が 1～2 日続いた後に回復します。

【感染経路】　飛沫感染 / 接触感染 / 空気感染 / 経口感染

【家庭でのケアのポイント】

＊嘔吐や下痢がある場合は脱水症状を防ぐ為、水分と塩分の補給が大切です。
↳市販の経口補水液を使用することもおすすめですが、無い場合は自宅でも作ることができますのでレシピを参考にしてみて下さい。

① 湯冷ましに食塩と砂糖を加え混ぜる
② 飲みやすい温度に冷ます
③ お好みで果汁を加えてもＯＫ

＊嘔吐後の水分補給は 1～2 時間後からゆっくりと始めましょう。最初はティースプーン 1 杯を 15 分間隔で飲ませ、1 時間くらい経っても問題がないようでしたら、下記の量を目安に量を増やしていきましょう。
↳乳幼児の場合:体重 1kg あたり 1 日 50～100ml

## ＲＳウィルス

【症状】　発熱 / 透明な鼻水 / 喉の痛み 等
↳2 歳以下の乳幼児が初めて感染した場合は重症化しやすい為、激しい咳や喘鳴・陥没呼吸・食欲不振等が見られた場合には早めに病院を受診しましょう。

【感染経路】　飛沫感染 / 接触感染 ※アルコールが有効です！

【家庭でのケアのポイント】
呼吸がしやすいよう、水分補給・鼻水の吸引・就寝時に頭が高くなるよう腰から坂を作るように枕やタオルで高さを調整しましょう。

## 感染症発生状況（６月~８月）

- 手足口病　38 人/96 人
- 流行性角結膜炎(アデノウィルス)　４人
- コロナウィルス感染症
- ウィルス性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- RS ウィルス感染症
- プール熱(アデノウィルス)
- 溶連菌
- 突発性発疹

■その他、咳が出ていたり、発熱の園児がいます。
■治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。(「ヒトメタニューモウイルス」は、記載がありませんが、「登園届」が必要になります。登園の目安などは「RS ウイルス」の欄を参照してください)

## 今後の予定

■内科健診（全クラス）
**•9/ 2(月)　12:30～（予備日:9/9(月) 12:30～）**
当日お休みを予定しているご家庭も、可能でしたら内科健診の時間のみ登園をお願いいたします。

## 病児・病後児保育について

38℃以上の発熱や、嘔吐下痢があった場合は、24 時間たってから登園が可能になります。解熱剤や下痢止め等を使用し無理をしてお子さまを保育園に預けると、お子さまが辛いだけではなく、他のお子さまにうつしてしまったり、保育士にも感染が広がると保育の運営にも支障が出てしまう可能性があります。
お仕事を休むことが難しかったり、どなたにも預けることが出来ない場合は、病児保育や病後児保育のご利用もご検討ください。

病児保育事業の広域連携について
令和５年４月１日から厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村で病児保育施設の相互利用ができるようになりました。詳しくは海老名市のホームページをご確認お願いします。